

2019年度 山梨学院大学 学術研究業績一覧

(2019/4/1~2020/3/31発表分)

【グローバルラーニングセンター】

氏名	業績区分	単著・共著の別	タイトル	出版社（発行所・掲載誌等） ・主催（学会名・大会名等）	発行年月日（発表年月日）
中山 由佳	口頭発表	共著／共同	演劇を導入した言語活動で育成される創造性（クリエイティビティ）の意義	言語文化教育研究学会 第6回年次会	2020/3/8
大平 幸	口頭発表	共著／共同	大平幸(2019)「ローカルな文脈から見つめ直す、「職場」という学習環境のあり方の検討ーある職場でのフィールドワークの事例をもとにー」嶋津百代・義永未央子・大平幸・八木真奈美「パネルセッション:場の考察から捉える日本語教育ー活動と参加者と場の相互作用ー」	第23回AJEヨーロッパ日本語教育シンポジウム（於：ペオグラード大学）	2019/8/31
	口頭発表	共著／共同	定住外国人の働く環境を作る「指示場面のCan-do statements」の開発ー「職場」という文脈における指示連鎖の相互行為分析をもとにー	日本語教育学会秋季大会（於：くにびきメッセ）	2019/11/24
	口頭発表	単著／単独	大平幸(2019)「女子トーク」は何でできている？ー外国人スタッフと日本人スタッフがともに働く「場」において生まれる意味ー 「パネル発表：「場」を問い直す「場」ー研究と実践の蓄積と体系化を目指してー」	言語文化教育研究学会 第6回年次大会(於：同志社大学)	2020/3/8
	口頭発表	単著／単独	「実践コミュニティ」概念をとおして見ることばの習得ーコミュニティ・ことば・アイデンティティー Language Learning in 'Communities of Practice': Relationships between Communities, Language and Identities	JACET（大学英語教育学会）関西支部ESP研究会（於：大阪医科大学）	2020/2/8
古屋 憲章	学術論文 (査読論文以外)	共著／共同	個人の経験を社会・変革・未来へつなげる実践を目指してーナラティブをリソースとする教材作成の試みー	言語文化教育研究学会・『言語文化教育研究』第17巻	2019/12/31
	学術論文 (査読論文以外)	共著／共同	日本語教師の専門性を捉え直すー日本語教師観と日本語教育観の関係からー	アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会・『アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル』第11号	2019/8/31
	口頭発表	共著／共同	日本語教師は何をする人かー日本語教師が働きかける対象という観点からー	韓国日本語学会・第40回国際学術発表大会	2019/9/21

氏名	業績区分	単著・共著の別	タイトル	出版社（発行所・掲載誌等） ・主催（学会名・大会名等）	発行年月日(発表年月日)
古屋 憲章	口頭発表	単著／単独	日本語教育研究において「対話」はどのように論じられてきたかー日本語教育としての対話のあり方ー	言語文化教育研究会・第6回研究集会in山梨	2019/8/24
	その他	単著／単独	日本語の教室をいかに描くかー初級「総合活動型クラス」における相互行為を質的に記述するー	日本語教育学会・2019年度九州・沖縄支部活動	2019/7/20
	その他	共著／共同	「当事者駆動型」言語学習環境設計の必要性ーユニバーサルデザインからインクルーシブデザインへー	外国語授業実践フォーラム第19回会合	2020/2/16
	その他	共著／共同	当事者と参加者の語り	外国語授業実践フォーラム第18回会合	2019/8/31